

市民の力で大阪カジノを止めさせよう!

大阪にカジノを開設する準備が進められています。カジノができたら大変です。市民の力で大阪カジノ計画を中止に追い込みましょう

大阪カジノ反対市民集会

日時 10月26日(土)午後 1 時半～
会場 大東市立市民会館4階大会議室
講演 夢洲カジノの環境・経済問題
阪南大学教授 桜田照雄氏

訴え 国民を破滅さすカジノを躊躇なく誘致する集団に猛烈に抗議する
(蟻の一徹の会(仮称)結成の呼びかけ) 梶岡保一

連帯あいさつ

- ☆大阪各地でカジノ反対運動を進める仲間たち
- ☆大阪カジノに反対する政党や議員の皆さん

参加 自由・無料
呼びかけ人 梶岡保一 藤田圭亮
連絡先 氷野4-2-62 072-889-1070 (すぎおか方)

大阪夢洲カジノ誘致と大阪都構想に反対する集会のご案内

大阪夢洲カジノを松井市長、吉村知事、大阪維新の会が強引に誘致を進めている。今までの選挙でカジノ誘致を前面に出さない戦略を使つて来た大阪維新の会が、独断で誘致を進める権利はありません。

カジノ誘致の賛否を問う**住民投票**を求める事は我々大阪府民の**絶対的権利**だろう。

世界は日本のパチンコ(パチスロ)をハイローラー(カジノ)のVIPでも繰り返し高額を賭ける客の事が存在しない完全なるカジノの認識です。大阪にはパチンコ台(パチスロ台)が約35・7万台、店舗数は約800店有り、全国でも嵌って(はまって)いる有数の地域です(NO1とも思う)。

本来健全な消費に向かったはずの巨額の金がブラックホールに引き込まれる様に吸い込まれていった。地域で消費する金を吸い上げて、客を食い散らかして成長してきたのがパチンコです。パチンコで破綻した者、寸前で破綻を止められた者、その者たちの家族は膨大な数です。世界のカジノ資本は日本(特に大阪や

東京など大都市)がパチンコカジノ(パチスロ)で刷り込まれた物凄い客の存在を知っている。その日本を、カジノ資本家達は、甘い蜜を蓄えた桃源郷と考えているだろう。身近で賭博ができる日本は、賭博の種類や金額も世界最大の賭博国家です。国民が賭博で嵌って苦しんでいても野放しに営業を許し賭博業



韓国の江原ランド

者に甘い日本は、世界のカジノ資本から完全に狙われている。狙われているのは我々一般庶民なのだ。嵌る中心は若者です。

韓国の江原（カンウォン）ランドカジノは、唯一韓国人も入場できるカジノで、97%が韓国人客です。ソウルから陸路で3時間以上の距離だが、客の70%はソウル市周辺からの来場者です。

2000年の開業以来、相当な数の破綻者、自殺者が出ています。朝鮮日報に、キムさん（51歳、中小企業の代表）がVIP会員として江原ランドカジノで勝負をし、21億ウォン（約2億円）負け、カジノホテル内で自殺、遺書には「蟻のように一生懸命働いて一代で成功したのに、ギャンブルに嵌って全財産を使い果たしてしまった」と書かれていました。しかし、彼よりはるかに低い金額で自殺する客の方が圧倒的に多いのです。

シンガポールは淡路島ほどの面積で、約500万人の人口です。カジノ業者の土地のリース期間は60年、カジノのライセンス期間は30年です。営業を止める場合は、巨額の違約金が発生する。何が起ころうと、シンガポールは30年の間、カジノの営業を停止させることは無理だろう。依存症対策が最も進んでいるカジノだと日本のカジノ推進者達が喧伝しますが、2010年開業以来、



韓国の江原ランドの周辺に質屋が立ち並んでいる写真です

瞬間にカジノに嵌り、入場ができない。自国民を作り上げた。そして、カジノを覚えたが、入場を禁止された人達が周辺国のカジノや、ネットプレーする様になった。パンドラの箱を開けた結果だ。それでも、この国を依存症対策の最も進んだ国家だと言うのか。

米国は2000年以降、多くの州が税金を増やす目的で、新規ギャンブルを許可し、規模拡大を次々に認可、米国は現在1000以上の大中小のカジノが林立し、依存者数は世界最大。各州議会も安易に許可した結果、依存問題を作り上げる要因になった事実を明確に認めている。2017年6月にカリフォルニア州やインディエゴ市の集中外来機関の依存症予防治療部門の責任者が大阪で講演をされました。薬物中毒も

賭博中毒も全く同じレベルで治療が難しいと発言された。薬物は自分が依存者の認識を持つが、賭博は自身が依存者の自覚が無い事で双方とも完治が非常に難しい様です。賭博依存者に、どんな対策を講じてても効果があまり期待できないのが、現実との認識だった。薬物も賭博も人生を破壊させる点では全く同じとの見解でした。

カジノを放置散らしたら、中国清朝時代のアヘンと同様に、国民や国家をも亡ぼすこともあり得る装置と理解している中国は、強烈にマカオのカジノをコントロールしてきます（しかし、強国中国でも、一旦許可されたカジノの規制は難問です。薬物もカジノも国民が破滅するのは同じ事と学習している中国は、自国人の入場には物凄く注視している）。

ネットの記事に、「殺伐としたマカオの様に、日本はならないでほしい」と忠告をしてくれた日本を良く知るカジノの従業員の話が載っていた。

「賭博（カジノ）は、常に財産や人生を台無しにする大多数と、その者達の犠牲によって利益を得る少数との関係で成り立っている」という格言があります。

松井市長、吉村知事、大阪維新の会は、大阪府市議、両首長、国会議員選挙で大阪カジノ誘致を前面に出さずに選挙を進めてきた。大阪維新の会は人間を破壊するカジノで大阪府民や近県住民を奈落の底に突き落とすつもりか、それも、何十年に亘りだ。カジノは日本人を、徹底的に破壊させる装置なのだ。

2015年5月の特別区設置（都構想）は大阪府域（大阪市の個人、法人）の税収の4分の3が大阪府（都）に吸い上げられる構想だった。大阪府から税源を奪い取る物凄く暴力的な構想です。全国的政令市20都市の中で、特別区設置に手を挙げる都市は、大阪府以外一つもありません。政令市が特別区設置で発展し住民が幸せになるなら、他の政令市からも声が挙がるはずです。

大阪府24区の人口は、約270万人（大阪府全体の約30%）、東京23区は、約900万人（東京都全体の約70%）だ。特別区域の23区が納税した総額の55%しか区域内で使えない。

試算もある。23区から独立して普通の市になりたい声が、出てくるのは当然です。特別区設置は、巨額の税金を納めても、特別区の裁量権は小さな自治体以下になるだろう。

多くの府県の発展は中枢都市が機関車の役目なのだ。大阪も、大阪市24区の活力と発展があつて大阪全体が繁栄するのです。その手段が大阪府域（24区）の巨額の税金を使う特別区設置や、大阪や周辺の県民から金を巻き上げて嵌らす大阪夢洲カジノではないだろうか。

地下鉄延伸で梅田から夢洲まで30分以内。こんな人口集積地に巨大なカジノがある国は世界に一つもありません。

大型パチンコホールが1トン爆弾なら、カジノは核爆弾に匹敵します。カジノ誘致はパチンコを含めた日本の賭博全体を次のステージにあげることに成り、その流れを誰も止められません。大阪府民や近隣県民が奈落の底に間違いないくひきずりこまれるだろう。

私たちが府民が声をあげる事で、日本の流れを誘致する事にもなるのです。

社会正義が普通に通じない今、この事をどう思われますか？ 皆さん、ぜひ会場にお立ち寄りください。